

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2020
MAY

No. 680

Sat. 30th May
Subscription Concert

No. 119

Sun. 31st May
Niigata Subscription Concert

5



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
特別客演指揮者	飯森範親
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター	グレブ・ニキティン
	水谷 晃
アシスタント・	田尻 順
コンサートマスター	廣岡克隆

会 長	横川 端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤 創
	依田 巽
専務理事	大野順二
理 事	阿部武彦
	池辺晋一郎
	伊藤美樹
	大橋 博
	岡崎哲也
	庄司 薫
	永山 治
	夏野 剛
	南部靖之
	福川伸次
	藤原 洋
	増岡聡一郎

監 事	磯村文靖
	寺西基之
評議員長	金山茂人
最高顧問	梅沢一彦 鴛海量明
評議員	片山泰輔 加藤英輔
	西村 朗 星 久人
	松木康夫 山添 茂
	横川 竟

特別顧問	飯島延浩
	草壁悟朗
	福田紀彦

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 小川敦子
- 加藤幸子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 森岡ゆりあ
- 吉川万理
- 大和田ルース

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 塩谷しずか
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西広興 ●
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 松崎里絵

Cellos

- 伊藤文嗣
- 川井真由美
- 謝名元 民
- 蟹江慶行
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子 *

Double Basses

- 回 助川 龍
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子
- 笠原勝二

Flutes

- 相澤政宏
- 八木瑛子 *

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 荒木奏美
- 篠崎 隆

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
- 福士マリ子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 大野雄太
- ジョナサン・ハミル
- 阪本正彦
- 加藤智浩 *
- 清根伸吾 *

Trumpets

- 佐藤友紀
- 澤田真人
- 野沢岳史 ●
- 松山 萌

Trombones

- 鳥塚心輔
- 大馬直人
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 渡辺 功

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Harp

- 景山梨乃

Librarian

- ★武田英昭

Stage Managers

- 山本 聡
- 西岡理佐

楽団役員

- 井伊 準 ◆

楽団長 大野順二

編成局長 藤原 真

パネソネル・マネージャー 大和田浩明

楽団委員 相澤政宏 (議長)
大野雄太 (書記)
清水泰明
清水 太
鈴木浩司
藤井良太

事務室長 辻 敏

事務局 伊藤瑛海
■尾木貴雄
■梶川純子
桐原美砂
佐藤雄巳
高瀬 緑
竹内裕子
長久保宏太郎
廣中憲士
美濃部 敦
山田道子
小川博司 *

名譽団友 深江泰輔 ◆ 三木晴雄

- 天野裕和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原茉莉
- 内田彬雄
- 内田乃樹子
- 宇都 実
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正昭
- 大塚展明
- 馬場隆弘
- 小川さえ子
- 荻野 昇
- 奥田昌史
- 音川健二
- 加護合直美
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 小林照雄
- 小林亮子
- 佐川聖二
- 佐川裕子
- 佐々木真
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 曾根敦子
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 中塚和良
- 中塚博則
- 中山 智
- 西依智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 日野 奏
- ペアン・
- ボーマン
- 前田健一郎
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みこ子
- 諸橋健久
- 渡辺哲郎

演奏会でのお願い

ご来場の皆様に演奏会を
楽しんでいただくためにご協力下さい

Please keep in mind the following rules, protocol and
etiquette so that all of our guests may enjoy today's concert.



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットに記載されて
いる座席番号にのみ有効です。座
席移動はご遠慮ください。また係の者が、チケットを
拝見・確認させていただく場合がございます。

Please be seated at the seat number designated on your
ticket.



補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウ
リングの発生を避けるためにきち
んと装着されているか今一度お確
かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please
check that your device is suitably set before the
performance begins.



開演前に携帯電話、 時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動す
る音が響きますので、電源は必ず
切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms
and all other noise-emitting electronic devices before the
performance begins.



演奏中の 飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は
思っている以上に場内に響きます
ので、演奏中の開封はご遠慮ください。のど飴は演奏
開始前までに口の中へ入れておきましょう。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール
袋等、音の出るものは音を立てな
いようにご配慮ください。演奏中
の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かば
んのチャック等をいじるのも雑音となりますのでご注
意ください。

Please be silent during the performance.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの
広い帽子や高さのある帽子は脱い
でご鑑賞ください。またリズムをとる行為も、隣の人
の迷惑になりますのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in
a way which could disturb or obstruct the view of those
seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場、曲間・楽章間のご
入場は制限させていただきます。
途中入場がある場合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a
performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量は
かなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from
any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

フライングブラボーやフライング
拍手はお控えください。

The lingering sounds and moments are part of the
performance. Please hold your applause or shouting your
appreciation until the actual end of the performance.



香水は控えめに

Refrain from wearing an excessive amount of perfume.



ホール内での録音・録画・ 写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.

5/30 SAT. 31 SUN.

第680回 定期演奏会

2020年5月30日(土) 6:00p.m. サントリーホール

Subscription Concert No.680

Sat. 30th May 2020, 6:00p.m. Suntory Hall

第119回 新潟定期演奏会

2020年5月31日(日) 5:00p.m. “リゅーとぴあ”コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.119

Sun. 31th May 2020, 5:00p.m. Ryutopia Concert Hall

下野 竜也 [指揮]

南 紫音 [ヴァイオリン]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Tatsuya Shimono, Conductor

Shion Minami, Violin

Gleb Nikitin, Concertmaster

ボッケリーニ(ベリオ編曲):

マドリードの夜の帰営ラッパ (10')

L.Boccherini (arr. L.Berio):

Ritirata notturna di Madrid (10')

ベルク:ヴァイオリン協奏曲

「ある天使の思い出に」(22')

I. アンダンテ - アレグレット

II. アレグロ - アダージョ

休憩(20')

A.Berg: Violin Concerto

“Dem Andenken eines Engels” (22')

I. Andante - Allegretto

II. Allegro - Adagio

Intermission(20')

ベートーヴェン:「フィデリオ」序曲 作品72 (6')

L.v.Beethoven: "Fidelio" Overture, op.72 (6')

ベートーヴェン:

「レオノーレ」序曲 第1番 作品138(10')

L.v.Beethoven:

Overture "Leonore" No.1, op.138 (10')

ベートーヴェン:

「レオノーレ」序曲 第2番 作品72a (13')

L.v.Beethoven:

Overture "Leonore" No.2, op.72a (13')

ベートーヴェン:

「レオノーレ」序曲 第3番 作品72b (14')

L.v.Beethoven:

Overture "Leonore" No.3, op.72b (14')

●主催/公益財団法人東京交響楽団(5/30)、公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(5/31)

●特別協賛/株式会社エイチ・アイ・エス(5/30)

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会(5/30)

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会(5/31)

楽曲解説はP.06をご覧ください



5/30 SAT. 31 SUN.



©Naoya Yamaguchi

Tatsuya Shimono

Conductor

下野竜也 指揮]

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月～)
 広島ウインド・オーケストラ音楽監督(2011年1月～)。鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、バルセロナ響、シンフォニア・ヴァルソヴィアなど国際舞台での活躍が目覚ましい。これまでに読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授、東京藝術大学音楽学部指揮科非常勤講師として後進の指導にもあたる。太鼓芸能集団「鼓童」ミュージックアドバイザー。鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。
 公式ホームページ

<http://www.tatsuyashimono.com/>

General Music Director of Hiroshima Symphony Orchestra since April, 2017

Born in Kagoshima in 1969, Tatsuya Shimono cemented his international reputation as a conductor by winning the First Prize and the Hideo Saito Award at Tokyo International Music Competition for conducting in 2000 and the First Prize at the 47th Besançon International Competition in 2001. Since then he has guest conducted major orchestras such as Orchestra dell'Accademia Nazionale di Santa Cecilia, Czech Philharmonic, Tokyo Symphony and NHK Symphony among others.

Shimono served as Resident Conductor and then Principal Guest Conductor of Yomiuri Nippon Symphony Orchestra (2006-2017) as well as guest conductor and then Principal Guest Conductor of Kyoto Symphony Orchestra (2014-2020).

He is also holding the title of Music Director of Hiroshima Wind Orchestra since 2011.

In addition to his activity with orchestra he also regularly conducts Opera at New National Theatre Tokyo, Nissay Theatre and Nikikai Opera among others.



©Shuichi Tsunoda

Shion Minami

Violin

南 紫音 [ヴァイオリン]

北九州市生まれ。2000年、第54回全日本学生音楽コンクール福岡大会小学校の部第1位。同年、第10回日本クラシック音楽コンクール全国大会小学校の部第2位(1位なし)。2002年、第56回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部第1位。2004年、第13回アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで15歳にして優勝。2005年イタリア・デビューを果たす。同年10月、ロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位を受賞すると共に「サセム賞」も受賞した。2015年には、世界でも難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞。

これまでに国内主要オーケストラをはじめ、フランス国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、サンカルロ歌劇場管弦楽団、ミラノ・スカラ座室内合奏団とも協演、スペイン・ビルバオ交響楽団との日本ツアーも好評を博す。

2005年北九州市民文化奨励賞、2006年福岡県文化賞受賞。2010年第11回ホテルオークラ賞受賞。2011年第21回出光音楽賞受賞。2017年北九州市民文化賞受賞。

Born in Kitakyushu. Shion Minami won the 13th Alberto Curci International Violin Competition in 2004. With her second prize of Long-Thibaud International Competition in 2005, she attracted a great deal of international attention. In 2015 she got the second prize of the Joseph Joachim Hannover International Violin Competition.

She has performed with French National Orchestras, Lille National Orchestra, San Carlo Theatre Orchestra, La Scala Chamber Orchestra among many others. She toured in Japan with Bilbao Symphony Orchestra conducted by Juanjo Mena.

Ms. Minami received the Kitakyushu Civil Culture Honorable Award in 2005, the Fukuoka Prefecture Culture Awards in 2006, the 11th Hotel Okura Award in 2010, the 21st Idemitsu Music Award in 2011, and Kitakyushu Citizen Culture Award in 2017.

Currently she continues her study in Hannover, along with many recitals and concerts in Japan and Europe.

5/30 SAT. 31 SUN.

ルイーゼ・ボッケリーニ(1743～1805)／ルチアーノ・ベリオ(1925～2003)

マドリードの夜の帰営ラッパ

ルイーゼ・ボッケリーニは、イタリアの作曲家・チェロ奏者である。その活動時期に鑑みれば、ボッケリーニは古典派に類する作曲家と言えようが、スペインの宮廷(カルロス3世の弟ルイス親王の下)に長く仕えた経験から、いわゆるウイーン古典派の作曲家とは異なる作風を獲得している。

《マドリードの夜の帰営ラッパ》(《マドリードの通りの夜の音楽》とも)は、1780年に作曲された弦楽五重奏G324(Gはジェラルの作品整理番号)の第5楽章「リティラータ」の通称である。この第5楽章はわずか40小節の曲だが、1799年に主題と11の変奏曲に再構成され、ギター五重奏曲第9番G453の第4楽章や、弦楽五重奏第12番G418の第3楽章に組み込まれることになる。

ルチアーノ・ベリオは、第二次世界大戦後の音楽界の一翼を担ったイタリアの作曲家である。1960年代のベリオは、《セクエンツァ》や《シュマン》シリーズ、あるいは電子音楽の領域で充実した創作を展開してゆくが、その一方で、クラウディオ・モンテヴェルディをはじめ、ときにはビートルズ作品の編曲をも手がけてゆく。編曲の活動は70～80年代にさらに拡大し、《マドリードの夜の帰営ラッパ》の管弦楽版も、その一環から1975年に生み出された作品である。初演は同年の6月、委嘱したミラノ・スカラ座の管弦楽団と、ピエロ・ベルージの指揮により行われている。ベリオの管弦楽版は、変奏曲の「リティラータ」に基づいている。ここでは、軍隊の太鼓を模した前奏は、オリジナルの弦楽五重奏G324に依っている。軍楽隊が次第に近づき、やがて兵舎に戻って行くまでの様子が描かれている。行進曲らしく分の2拍子で明快なハ長調で書かれている。ベリオの編曲は、《シンフォニア》(1968～69)や後の《レンダリング》(1989)などに繋がるものとも言われる。その意味において本作を含めた一連の編曲活動が、いかに創造的な行為であったことが伺えるというものだ。

今野 哲也 TEXT by Tetsuya Konno

作曲：1975年

初演：1975年6月ミラノにて、ピエロ・ベルージ指揮

編成：フルート3(ピッコロ持替)、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン、クラリネット2、バス・クラリネット、バスーン2、コントラバスーン、ホルン4、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン、バス・チューバ、ティンパニ、大太鼓、スネアドラム、トライアングル、ハーブ、弦5部

アルバン・ベルク (1885 ~ 1935)

ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」

ウィーンで活躍した音楽家は計り知れないが、ウィーンの出身者となれば、思いのほか少ないものだ。アルバン・ベルクは生粋のウィーン人で、師アルノルト・シェーンベルクや盟友アントン・ヴェーベルンと共に、第20世紀音楽の礎を築いた作曲家のひとりである。

1935年1月、アメリカのヴァイオリニストのルイス・クラスナーから、ベルクは協奏曲の委嘱を受けた。当時、1929年から開始した歌劇《ルル》の創作が佳境に入っていたこともあり、受諾はしたものの、ベルクは新作の方針に心砕いたと言われている。ところで、ベルク夫妻と、マーラーの妻アルマと娘マノンの間には、かねてから親交があった（すでにマーラーは没し、アルマは再婚していた）。子供がいなかったベルクは、ことのほかマノンを可愛がっていた。しかし、彼女は、委託を受けた年の4月に19歳（18歳とも）で夭逝する。その悲しみに突き動かされたベルクは、弔いの意味を込め、ヴァイオリン協奏曲を8月までに完成させることになる。当然、表題の「天使」は当然、マノンと捉えることが通説だが、近年においては、彼女だけに捧げた作品ではないとする解釈もある。

すでに12音技法を導入し、《ルル》では全面的にそれを展開していたベルクは、ヴァイオリン協奏曲でも同じ手法を採ることになる。協奏曲は2部構成。たとえば第2部のアダージョ部分では、J.S.バッハのカンタータ《おお永遠よ、汝震撼させる言葉よ》BWV60のコラール〈充分です、主よ、汝の御心に叶うのならば〉が引用されることでも知られている。また、他の部分では、ケルンテン地方の民謡の引用なども見られる。

初演は作曲者の死後、1936年の4月のバルセロナの音楽祭で、委嘱者の独奏、ヘルマン・シェルシエンの指揮（当初はヴェーベルンの予定であった）で行われた。作曲を終えてほどなくして、ベルクは悪性の腫瘍に苦しむようになり、《ルル》の完成を待たずに、クリスマス・イヴにこの世を去ってしまう。そのため、作曲者が新作の初演を聴くことは叶わなかった。

[譜例] ヴァイオリン協奏曲の基礎音列



今野 哲也 TEXT by Tetsuya Konno

作曲：1935年

初演：1936年4月バルセロナにて、ヘルマン・シェルシエン指揮

編成：独奏ヴァイオリン、フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット2、バス・クラリネット、アルト・サクソフォン(クラリネット持替)、ファゴット2、コントラファゴット、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・テューバ、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タムタム、ゴング、トライアングル、ハーブ、弦5部

5/30 SAT. 31 SUN.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

「フィデリオ」序曲 作品72

「レオノーレ」序曲 第1番 作品138

第2番 作品72a

第3番 作品72b

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンの唯一のオペラ《フィデリオ》は、1805年11月に全3幕のオペラとしてアン・デア・ウィーン劇場で初演されたが、上演は失敗に終わった。ベートーヴェンはすぐさま改訂に取りかかり、構成を全2幕へ短縮し、音楽も書き換え、翌1806年3月に《レオノーレ》として上演した。今度は成功を取めたものの、レパートリーとなることのないまま8年の歳月が経過した。ナポレオン戦争が終結し、ウィーン会議が行なわれていた1814年のはじめ頃、ベートーヴェンはふたたびこのオペラに取り組み、台本と音楽に大幅な変更を施し、タイトルも《フィデリオ》に戻した。かくして、同年5月にケルントナー・トーア劇場の舞台にかけられた改訂版《フィデリオ》は、大成功を取めることとなった。

ベートーヴェンはこれらの機会に、その都度新しい序曲を作曲したため、ひとつのオペラに対して複数の序曲が残されることになった。さらに、1806年の改訂上演の後にプラハでの上演計画が持ち上がり、このためにまた新たな序曲が作曲されたのだが、この計画は実現せず、この序曲は作曲者の引き出しに仕舞い込まれてしまった。ベートーヴェンの死後、遺産競売でこの楽曲の手稿譜を入手したハスリンガー社は、これを1805年の初演以前に作曲されながらお蔵入りとなった楽曲だと判断して「序曲第1番／1805年に書かれた／138番目の作品」として出版した。このことによって、《レオノーレ序曲》の番号と成立順序に混乱が生じてしまったのである。4つの序曲の名称と作品番号、成立時期と機会を今日までの研究成果に従って整理すると、以下のようになる。

成立年	楽曲名(番号)	作品番号	成立背景
1805年	レオノーレ序曲第2番	Op. 138	《フィデリオ》初演の際の序曲
1806年	レオノーレ序曲第3番	Op. 72a	《レオノーレ》(フィデリオの改訂上演)の際の序曲として
1806/07年	レオノーレ序曲第1番	Op. 72b	プラハ上演(計画)のための序曲として(実現せず)
1814年	フィデリオ序曲	Op. 72	《フィデリオ》再改訂上演の際の序曲として

4つの序曲は、同じオペラに対して作られたにもかかわらず、構成や楽器編成がそれぞれ異なっている。3つの《レオノーレ序曲》はどれもハ長調で、ト音の一撃による緩やかな序奏で始まる。なかでも第2番と第3番は音楽素材と楽曲展開が類似している。まず序奏でフロレスタンのアリア〈人生の春の日に〉の引用があり、続く快速な主部ではハ長調のシンコーション・リズムを特徴とした躍動的な主題と、ホ長調のカンタービレ主題があらわれる。そしてこれらの主題が展開された後、トランペットのファンファーレがどこからともなく鳴り響く。これは、オペラの中でフィデリオとフロレスタンが刑務所長のドン・ピツァロに追い詰められたところで、2人を救う大臣の到着を告げる信号ラッパである。第2番のファンファーレは変ホ長調で鳴り響き、その直後に急速なコードが続くが、第3番ではファンファーレは変ロ長調で吹き鳴らされ、これに主題の再現とコードが続く。一方で第1番は、先の2曲とは異なる音楽素材による序奏に始まり、続いてテンポを加速させて躍動的な主題があらわれる。その後、一転してアダージョとなり、フロレスタンのアリア主題が聴こえ、前の主題が回帰した後に急速なコードへいたる。さらに、第1番が他の2つと異なるのは、トロンボーンが編成されていないことである。ベートーヴェンの場合、トロンボーンは最後に書き加えるのが通例であったから、この点において第1番は未完成の作品だと言えるかもしれない。

《フィデリオ序曲》では一変、調はハ長調ではなくホ長調をとり、ファンファーレに由来する音形の総奏で開始される。この冒頭音形から発展した主題——第2ホルンのソロ——を中心に、その展開と再現、さらに冒頭部分の再現が行われた後、急速なコードとなり、冒頭のファンファーレ音形をたたみかけるように反復して締めくくられる。

1つのオペラに対して4つもの序曲が作られるというのは異例である。それは、同時代において複数のオペラに1つの序曲を使い回したジョアキーノ・ロッシーニのことを思い浮かべれば容易に理解できるだろう。しかしそのおかげで、私たちはベートーヴェンのオペラ序曲に対する美学の変化や、彼の作曲技法の発展を理解することができるのである。

岡田安樹浩 TEXT by Akihiro Okada

「フィデリオ」序曲

作曲：1814年

初演：1814年5月ウィーンにて

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、ティンパニ、弦5部

「レオノーレ」序曲 第1番

作曲：1806～07年

初演：不詳

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、弦5部

「レオノーレ」序曲 第2番

作曲：1805年

初演：1805年11月ウィーンにて

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部、ステージ外／トランペット1

「レオノーレ」序曲 第3番

作曲：1806年

初演：1806年3月ウィーンにて

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部、ステージ外／トランペット



ベートーヴェンの 初演を巡る

奥田佳道 (音楽評論家)

Text by Yoshimichi Okuda

モーツァルトが召されて約9年後の1800年3月下旬、楽都にしてハプスブルクの帝都ウィーンの新報に、とある公演予告が掲載される。

「4月2日水曜、開演午後6時半。宮廷ブルク劇場で、ベートーヴェン氏、彼自身の収益のためのアカデミー・コンサートを開催する名誉を得る」。

アカデミー・コンサートとは何やら格式を感じさせるが、要は自主公演。リサイタルの告知だ。

華やかな技巧を携えた鍵盤のヴィルトゥオーゾとして、すでにこの街で名声を得ていたベートーヴェン。このとき29歳。

晴れ舞台であると同時に客入りによっては赤字も覚悟しなければならない初の自主公演。すでに貴族の支援を受けていたとは言え、芸術的にも採算的にも失敗するわけにはいかない。それで……。

時代も次代も切り拓いた鬼才ベートーヴェンは、私たちが漠然と思い描く以上に慎重な姿勢で臨む。先輩作曲家へのリスペクトを掲げ、さらに当時のウィーンの趣味、聴き手の好みを映し出しつつ、新機軸を打ち出すというプログラミングを考えたのである。知将だった。

Ludwig van
Beethoven

ベートーヴェンの初演を巡る

当時の曲目表記に、筆者のコメントを添えてみた。

亡くなった楽長モーツァルト氏作曲の大交響曲

ベートーヴェンさん、新聞社さん。せめて調性だけでも書いておいて欲しかった。開演を彩るという祝祭性、公演全体の序曲的位置づけを考えれば、八長調か二長調の交響曲に絞られる、か。

ハイドン氏の「天地創造」のアリアと二重唱

続けてではなく、別々に演奏された。ガブリエル(ソプラノ)のアリアと、最終場面でアダムとエヴァによって歌われる第32曲「やさしき妻よ、お前のかたわらにあれば」と思われる。

存命中の巨匠ヨーゼフ・ハイドンのオラトリオ「天地創造」は、ウィーンのシュヴァルツェンベルク侯爵の館(宮殿)、続いてケルントナートーア劇場で披露目されたばかりだが、一部の楽曲はすでに人気だった。しかも同オラトリオの台本原案は、モーツァルト、ベートーヴェンに手を差し伸べ、いろいろあったハイドン、サリエリと交友したゴットフリート・ヴァン・スヴィーテン男爵である。

ベートーヴェン氏によって作曲、演奏されるピアノフォルテのための大協奏曲

現在のピアノ協奏曲第1番八長調か、実際は先に書かれた第2番変ロ長調だが、近年の研究では第1番とされる。この日のメイン!に繋がる八長調。

偉大にして高貴なる女王陛下に謹んで献上されたベートーヴェン氏作曲の「4つの弦楽器と3つの管楽器のための七重奏曲」

全6楽章で編成はコントラバスを含む4つの弦、それにクラリネット、ファゴット、ホルン。第3楽章の調ベ「テンポ・ディ・メヌエット」は当時すでに人気だった。ト長調のピアノ・ソナタ(ソナチネ)から移されたベートーヴェンのメヌエットである。

ベートーヴェン氏による鍵盤の即興演奏

何を弾いたのだろうか。前述のメヌエットによる即興? 他の自作? チェロのために変

奏曲も書いたモーツァルトの「魔笛」のひとつは? 「天地創造」? サリエリ? チマローザ? イ・ソレーロ? サルティ? 分からない。**新しく(作曲され)、大きな、すべての管弦楽を伴う交響曲**

プログラムの掉尾を飾った新曲のシンフォニーこそ、出版時にヴァン・スヴィーテン男爵に献呈されたベートーヴェンの交響曲第1番八長調作品21である。

1798年にライプツィヒで創刊され、ドイツ語圏で広く読まれていた一般音楽新聞AMZの評に、こんなくだりがある。

「最後に演奏されたベートーヴェンの交響曲は芸術性、独創性が豊かだ。発想もいい。しかし演奏は難しく、管楽器が数多く使われ過ぎていて。そのため、交響曲というよりも管楽合奏曲のような印象を受けた」。

交響曲第1番八長調の管楽器の編成は、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽器。均整のとれた古典派の2管編成で、1803年4月にアン・デア・ウィーン劇場で公開初演される交響曲第2番二長調作品36。ルドルフ大公邸での試/私演を経て1814年2月に王宮舞踏会場レドゥッテンザールで披露される交響曲第8番八長調作品93と同じだ。

けれども1800年前後、私たちがウィーン古典派の2管編成と呼ぶフォーメーションは大編成に映ったし、弦楽器の人数が「控え目」ゆえ、余計に大きく聴こえたのだろう。

1800年春、ベートーヴェンは交響曲「作家」として城壁都市ウィーンに名乗りを上げた。ロプコヴィツ侯爵、ルドルフ大公に代表されるパトロンの貴族邸での演奏を経て、城壁外のアン・デア・ウィーン劇場、王宮舞踏会場レドゥッテンザール、事実上の宮廷劇場だったケルントナートーア劇場で公開初演という流れが生まれる。ウィーン大学旧講堂で1813年暮れに公開初演された交響曲第7番だけが、ちょっと特別だった。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
ハウステンボス株式会社
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社インサイド・アウト
花王株式会社
環境ステーション株式会社
学校法人創志学園
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
ピーアークホールディングス株式会社
株式会社フェイス
株式会社ペッパーフードサービス

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
イーサポートリンク株式会社
サントリーホールディングス株式会社
新菱冷熱工業株式会社
セントラル短資FX株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鯨株式会社
中外製菓株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
株式会社日本ポステム
株式会社パソナグループ
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
株式会社ぶらう
丸紅新電力株式会社

ゴールド会員

ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
横浜自動車部品株式会社

シルバー会員

株式会社エスティア
株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
学校法人順心広尾学園
松竹株式会社
有限会社青史堂印刷
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
日本宅配システム株式会社
株式会社野毛印刷社
久光製菓株式会社
本田技研工業株式会社
司法書士法人村田事務所
株式会社LALLヒューマンホールディングス

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
ニッシンエレクトロロ株式会社
富士ゼロックス神奈川株式会社
前山歯科医院
株式会社ヤクワ
*株式会社U・STYLE
株式会社ワイ・ティ・ビィ

賛助企業

アサヒビール株式会社
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名3社



©N Ikegami

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(4月24日現在。五十音順)。

個人会員

サークル50

磯村文靖
伊藤晴美
伊藤美樹
鷗海量明
木暮紀子
澤田秀雄

清水尚彦
長瀬雅則
水野秀一
山本誠一郎
横川端
依田巽
匿名 3名

サークル25

*大内田由紀子
大木志乃生
沖田陽子
金山尚弘

後藤直人
*山口横惠
山口知子
山口 学
匿名 1名

サークル10

*浅川有基
*天野正道
*新井祥一
荒木陽子
*五十嵐建平
*井澤菜緒子
猪田隆文
伊藤 弘
*伊藤弥緒乃
井上孝昭
内山誠彦
梅沢光生
遠藤秀和
*遠藤由理
大城明幹
太田純子
*大野紀子
岡 邦子
岡野 哉
*景山眞菜
梶井龍太郎
片山泰輔
金子 元
*亀井善太郎
菊池光剛
*小林千明
小林 光
古丸 健
近藤和喜夫
斎藤脩司
佐々木真
佐藤大助
*佐藤則子
*佐藤美智子
*佐野利勝
塩沢誠司
清水野雄
*鈴木信恵
高津麻子

高島琢己
高家正行
田口之博
竹田 忍
千葉 清
*角田隆・直子
*手塚和彦
戸川二郎
中澤正
成瀬倉祥
*南部靖之
*西川こずえ
*二ノ宮知子
野口恵三
瀧名 剛
早川正希
原田美保子
アーネスト
M.比嘉

*平川暢子
*枇杷高志
*古庄忠雄
堀川将史
増岡聡一郎
*松下泰之
*水越睦美
*満田高久
*三橋祐太
峯岸恭博
村本京子
村本信幸
*森 晁彦
*森下国彦
*八鍬 昭
山口重雄
山田長清
山本 明
吉川麗月
吉田治喜

サークル10

吉村美恵子
*米岡修一

渡邊憲一
匿名 19名

フレンズ5

*有江純子
石澤卓志
*井上健
*大足史郎
*大川朋彦
*大塚具幸
*岡村雅子
*何 祖全
*川本嘉子
*河野 愛
後藤 実
小林義彦

坂本 潔
*佐久間智子
*佐藤 郁
*関根三善
高澤美貴子
高野幸一
寺澤佳代
*林 直之
*三田純子
山口 聡
*山田修造
*鎗水みお
匿名 16名

フレンズ3

東 恭代
天野 巨
*荒 洋一
*池田 茂樹
*稲田めぐみ
井上 聡
*井村俊一
*上田洋子
*上野光生
*牛木けんいちろう
内海重男
*江川博之
*大賀裕一
大崎 純
*岡本浩太郎
尾島夕里
*小田切明子
皆瀬 修
*加藤 瞳
*狩野 裕基
川村純一郎
木賀賢市
*北川 洋
久保田一穂
*好土崎裕子
古杉 絢
小林公子
*小林誠博
*小林幹夫
小山忠司
*齋藤朝子
酒井康夫
*佐々木穰
佐藤健司
*芝崎有男
清水良枝

*鈴木いく子
*須田眞理子
炭電 剛
*高橋勝弥
*竹内あゆみ
*竹本栄夫
田中健一
*辻 直浩
都築 豊
*常岡千城
長瀬利明
*中塚博則
中村幸雄
西岡浩史
西村建哉
西依智子
*仁多見康子
野口敬嗣
野田尚武
野田佳克
*服部俊治
*菱田明宏
福田昭夫
堀 哲也
*本間ひとみ
*松下一彦
*宮崎智子
*牟田慎二
*茂木大輔
*森下真弓
森本 篤
森山雅一郎
安江美穂
*安田茂生
山内貴弘
*山口政継

フレンズ3

*横尾 順
*K.Y.

Y.T.
匿名 29名

フレンズ1

■あ
*相場豊隆
秋山真一郎
明田重樹
*浅沼美穂
*朝比奈良
浅里文男
*安達郁夫
*荒井健次
*荒畑亜呼
安藤志津夫
安藤修子
安藤智昭
安仲充子
*飯塚佳代
井倉 勲
*池上陽一郎
*池田利昭
*池田 洋
*石黒万里生
石原祥子
*韋 晴明
磯村幸一郎
*井田直子
井手泰宏
*糸井若葉
*伊藤香織
伊藤晴子
伊藤寛明
伊藤宗功
伊藤力雄
*稲葉順一
*仁多見康子
*今尾博之
*今村知子
*入江理恵
岩澤淳子
*岩瀬順子
岩瀬正明
*岩田克司
岩田 新
上田 滋
上田順子
上野哲司
潮田伊織
*宇田川晋
内川真名子
内海ゆり
梅里拓志
*梅谷 隆
梅本千枝子
*浦上 綾

*瓜生こずえ
江川信彦
*櫻本広樹
*大木遼佑
*大澤寅雄
大嶋孝義
*大島初彦
大島康彦
大島裕美子
太田健司
大塚賀久
大貫浩史
大貫由香
大橋昌貴
大畑喜信
大森幸吉
岡田明寛
*岡田智子
岡庭明子
岡野明徳
*岡橋麻衣
小川幾子
小川 健
*小川智恵
*小川弘晋
*冲 知子
*奥秋和歌子
奥泉亮子
奥瀬 篤
奥田由美子
奥村和子
*奥村孝彦
*尾崎いずみ
小澤信正
*越智卓哉
*小名雅恵
*鬼久保美帆
小野沢直人
*小野塚健太
*小野塚純二
*小畑雄一
*小畑嘉文
■か
海藤慶子
*賀川 真
*柿市悟志
*柿沢厚夫
片山千栄
*葛城伸一
*加藤啓子
*加藤憲司
加藤由美子

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N. Ikegami

乙 芳 名 (敬称略)

- 兼子伸彦
- *鎌田博之
- *上村綾子
- *川合孝一
- *川口善行
- *川崎 茂
- *川瀬由果
- *川之上裕美子
- 河原 徹
- 河村陽子
- 菊池万美子
- *岸本裕子
- *北島春雄
- *北野雅子
- *北 正己
- *北村 眞
- 城処 隆
- 木内正則
- 木内道子
- 木下泰子
- *木下盛弘
- *木下幸雄
- 木村好一
- 木村民子
- 木村富士子
- 木村美智子
- 木村幸男
- *窪田有子
- *藤田敬子
- 栗原 潔
- *栗原良雄
- 玄間美幸
- *小池宏幸
- *古石春奈
- *小暮 徹
- *小泉和之
- 小嶋麻理
- 小杉順也
- *後藤 聡
- *小西 淳
- 小林恭二
- *小林 健
- 小林宏州
- 小林 洋
- *小林 浩
- *小山賢一
- 小山幸子
- *近藤真央
- *近内光一
- *近内ゆり子
- さ
- *斎藤爽子
- 齋藤ひろ子
- *齋藤 博
- 齋藤将隆
- *齋藤良江
- 榎 英純
- *坂川辰美
- 坂本タカ子
- *坂本宗男
- *佐川みお
- 前刀禎明
- *笹岡 博
- 佐々木直人
- *佐々木伸代
- 笹原 勉
- 河原 徹
- *佐藤 学
- *佐藤健児
- *佐藤幸子
- 佐藤 孜
- 佐藤敏明
- *佐藤 昇
- *佐藤義仁
- 里見正憲
- 設楽 猛
- 柴崎晴雄
- 柴崎俊也
- *波川朋子
- 嶋谷宏明
- 清水絵美子
- 清水敬一
- *清水久志
- *庄司一彦
- 生野隆久
- 白石 智
- 白石 大
- *新川真代
- *末永聖武
- *末 信幸
- *菅澤和美
- *菅沼 晋
- 杉田忠史
- *杉田弘也
- *杉本順子
- 杉本昌彦
- *杉本良男
- 杉山重明
- 杉山慎二
- *洲合明子
- *鈴木英果
- 鈴木米子
- 鈴木啓介
- 鈴木孝治
- *鈴木健司
- 住吉保人
- 清水穂名美
- *関口あずみ
- *関口良一
- 關 俊朗
- 関 洋
- *瀬戸成実
- た
- 高石祐次
- 高木敏和
- *高木玲子

- 高野洋二
- *高橋英二郎
- *高橋真季
- *高橋美穂
- *高橋有三
- *高橋雪代
- 高橋ユリコ
- 高松則雄
- 田川智也
- *竹内 昭
- 竹内聖子
- *竹田篤司
- 竹前英子
- *武山理絵
- *立花香代子
- *立岡美也子
- *田中敦子
- *田中真恵子
- *田中敬子
- 田中治郎
- *田中妙子
- *田中昌子
- *田中義和
- 谷川 啓
- *谷川俊一郎
- *谷川一彦
- 正浩
- 千田晴久
- *寺田尚弘
- 寺田治男
- *東城真理子
- *時本芳則
- *富澤信久
- *外山一行
- 鳥居順子
- 鳥居夕紀夫
- な
- *中尾友彰
- *中川紫音
- 中村紀美子
- *中村忠雄
- *中村太郎
- *中村基孝
- *名畑芳明
- *奈良 学
- *奈良めぐみ
- *奈良陽子
- *鯨川一馬
- 西川 晶
- 西川淑子
- 西村淳夫
- *西村 真
- 西山英昭
- 根本直之
- *根本暢明
- *野口麻美
- *野口 誠
- *野村文子
- 野村勝美

- は
- *萩森英明
- 箱崎芳雄
- *橋本和雄
- *橋本憲人
- *長谷川京介
- 長谷川健一
- 長谷川博
- *長谷部啓
- 波多ミサエ
- *早川明男
- 早川克己
- 林 裕子
- 林田和代
- *林原和宏
- *林 均
- 林 博子
- 早見幸子
- *原口岳士
- 原 ひとみ
- 樋口順子
- 樋口 實
- *肥後恵子
- *日比野裕幸
- *水見祐磨
- 平岡 要
- 平塚古之
- *平林和枝
- 廣瀬泰文
- 深沢茂美
- *福園聡里
- 藤田 栄
- *藤野盾臣
- *富士原裕文
- *二見康源
- 古市雄二
- *古澤知広
- 直 樹
- *細田 弘
- *堀 浩史
- *堀真知子
- 本多宗志
- ま
- 前田 泉
- *前田直也
- 真木太郎
- 松井孝治
- *松江信裕
- 松尾淳一
- 松川好孝
- *松木 望
- 松下泰之
- *松永真由美
- 松村悠紀子
- 松本 繁

- *真船 潤
- 圓尾雅則
- *三浦麻子
- *三浦 淳
- *三浦秀秋
- *味方伸幸
- *水垣裕子
- 水谷晴彦
- *三田村久美子
- *三橋祐太
- *宮川悦子
- 宮坂健司
- *宮崎敏幸
- 宮寺 昇
- *村上誠司
- 村瀬正子
- 村田拓郎
- *最上沙紀子
- *元井亮一
- *本橋千恵子
- *森かほ里
- *森 康隆
- 森 里美
- 森島朋子
- *森 朋子
- *森まさ子
- や
- *八子真由美
- *矢澤朋香
- 柳本友幸
- *平林和枝
- 廣瀬泰文
- 深沢茂美
- *福園聡里
- 藤田 栄
- *藤野盾臣
- *富士原裕文
- *二見康源
- 古市雄二
- *古澤知広
- 直 樹
- *細田 弘
- *堀 浩史
- *堀真知子
- 本多宗志
- ま
- 前田 泉
- *前田直也
- 真木太郎
- 松井孝治
- *松江信裕
- 松尾淳一
- 松川好孝
- *松木 望
- 松下泰之
- *松永真由美
- 松村悠紀子
- 松本 繁

- わ
- *若田部矩弘
- 渡邊昭彦
- *渡辺明裕
- C.S.
- N.S.
- 匿名 211 名

- 栄誉会員
- ヨーコ・ナガエ・
- チエスキーナ

遺贈ご寄付(敬称略)

竹内容子
齊藤公治メモリアル基金
岡橋純男
岡橋 孜

法人定期会員

【定期演奏会】
東京コンテナ工業株式会社



特別後援会員制度のご案内

当楽団では公演の1営業日前までに
ご欠席の連絡をくださった方には、
入場券代はお返し致しませんが、特別
後援会員として1年間定期公演の
プログラムにお名前を掲載させていただき、
当団主催公演の入場券を5%引き
(TOKYO SYMPHONY チケットセンター扱
い分のみ)にてお求めいただけます。
お求めの際に特別後援会員であることをお申し
ください。なお、対象となる演奏会
は当団が指定する催公演です。

- 池田 均
- 石川明子
- 石川 章
- 内田恵美子
- 大橋美可恵
- 小川 健
- 佐藤悦子
- 後原信夫
- 関根三善
- 中島美奈子
- 森山雅一郎
- 匿名 4 名
(敬称略)

ご連絡は
TOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511へ
お電話でお願いいたします。



©N Ikegami

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	法人会員	サークル 会員	フレンズ5	フレンズ会員 フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内		○	○			
出演者・楽員との懇親会		○	○			
オリジナルイベント		○	○	○	○	
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2		○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合：「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分^{*3}について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。^{*3}

^{*3}但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけるようになりました。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians 楽団員紹介

バラエティ豊かなホルン・プレイヤー

上間 善之

Yoshiyuki Uema

[首席ホルン奏者] 2006年8月入団

趣味:釣り、東響野球部/東響フットサル部に所属



©N.Ikegami

ホルン奏者のDNA

中学校では野球部に入ろうと考えていたのですが、姉の影響で吹奏楽部に呼ばれて、人が足りなかったホルンを吹いたら音が鳴ったので、先生が「君もう決まりだね!」と。小学校のクラブでトランペットを吹いていたのでそのままコンパートされました(笑)。

きっとどの楽器もそうですが、ホルンもやればやるほど難しい楽器。単独プレイ向きではない分、オーケストラの中での影響力などを考えながら演奏すると、とても興味深いものがあります。各楽団内に限らず、日本全国、世界各国のホルン奏者は仲が良いですね。「誰かやってよ!」と言われるとみんな遠慮しがちだけれども、集まった時のパワーは凄い。ホルン奏者のDNAかもしれません(笑)。

“音楽”“トーク”“笑い”のホルン紅白

2011年、川崎市中原区役所内での復興コンサートからスタートしたホルン紅白もまもなく10周年。最初、大野さん(首席ホルン奏者)にこのアイデアを持ち掛けたところ、「是非やりたい」と言ってくれて。でも私は話すのが苦手なので、どうしようかと考えていたところ、運よく横に某音大落語研究会出身の人(元ホルン奏者 現パースナル・マネージャーの“チャーリー 犬和田”)がいたので(笑)司会をお願いし、今の形になりました。

曲目は自分たちが慣れ親しんだ昭和歌謡。選曲は、会議(という名の宴会)でリストアップします。北は北海道、南は沖縄まで、あらゆるとこ

ろで開催したので、会場や時期を考えて、曲が被らないように選びます。レパートリーは100以上あるかもしれません。



©ラブリー♡青柳

お馴染みの「UFO」は振り付けも忠実に。

初めての無観客コンサート

コロナウィルス感染拡大の影響をうけ、この3月、昨今の状況から、初めての「無観客コンサート」を経験しました。本番同様に燕尾服を着ているのに、ホールにお客さんはいなくて、響きもスーツと通っていってしまう。妙な緊張感もあって、シユールというか、なんとというか……。なので、公演後の反響を見たときは安心しましたし、力をもらいました。よく“演奏会はお客さんがいて初めて完成するもの”と言いますが、それを身をもって感じる事ができたことは、とても貴重でした。今は、また聴衆の皆さまと会場でお会いできる日を心待ちにしています。

インタビュー:事務局

《トリスタンとイゾルデ》の「人々」への眼差し

館 亜里沙 Arisa Tachi (音楽学)



《トリスタンとイゾルデ》に与えられた「(昼に對する)夜」というテーマは、形而上的であるがゆえに、多種多様な舞台設定を呑み込んできた。実際パイロイト祝祭においても、W. ワーグナーの演出(1962)に代表される、象徴的なモチーフで抽象化された神話の世界から、C. マルターラーの演出(2005)による現代の建物と扮装に置き換えられた世界まで、《トリスタン》にあてがわれる舞台の様相は様々だ。勿論他のワーグナー作品にもこのことは当てはまるが、それでも《トリスタン》の楽しみ方は、他の作品とは異質に思われる。

例えば《ニーベルングの指環》では、ドラマの要に指環・剣・槍といった具体的な物体が存在し、登場人物も「○○の神」といったレッテルか「巨人」といった視覚的な特徴を有する。よって「各々の道具や人物が、今日は一体どんな姿で登場するのか」というのが各演出の大きな楽しみの1つとなる。だが《トリスタン》の物語を成り立たせているのは、タイトルロール達の許されぬ愛に加え、2人の出身国の対立関係、そして各人物間の主従関係と、いずれも相対的な人間関係であり、直接的には見えないものであり、それらは歌手達の芝居を通じて初めて仄めかされる。唯一視覚的に目立つ道具が、ブランゲーネによってすり替えられた媚薬であるが、これもD. ホラントの述べる通り「毒薬だと思い込まれている」ことが重要性であり、注目すべきは薬液の存在よりもむしろ、薬液によって共に死ぬつもりであったトリスタンとイゾルデの芝居であろう。よって《トリスタン》の演出を見比べるうえで興味深いのは、「表面的な舞台の眺めがどうであれ、本質的に変わることはない人間関係」を読み取ることにある。逆に上演する側にしてみれば、どんな舞台設定を設けようとも、ドラマの鍵を握る人間関係は余すところ無く可視化することが、腕の見せ所となる。

この演出が可視化する人間関係ほど、体系的に遡り辛いものは無い。というのも生身の人間の芝居は刻一刻変わるものであり、それを鮮明な映像で残しているプロダクションも限られているからだ。だが歴代の名演の瞬間をここに紹介することは出来

るだろう。先に挙げたW. ワーグナーの演出は1967年に大阪でも上演されているが、B. ニルソン扮するイゾルデは第1幕で非常な誇り高さを保ちつつも、薬液を飲んだ瞬間に彼を抱きしめ、宿命の愛を露わにする。1993年に東京に持ち込まれたベルリン・ドイツ・オペラでのG. フリードリヒの演出では、R. ロイド扮するマルケ王が、第2幕で愛し合う2人から静かに背を向けて去り、王としての威厳と人としての悲哀を見せる。2007年ミラノ・スカラ座でのP. シェローの演出は現代に近い舞台設定で、登場人物達の主従関係もややラフであるが、ただ一人トリスタンのために奔走するG. グロハウススキのクルヴェナルには、涙ぐましい実直さがある。そして執筆者が特筆したいのは、1983年に映像化されたJ. P. ポネル演出におけるR. コロのトリスタンだ。第1幕・第2幕における静止姿での繊細な表情の変化、および第3幕での狂気的な動作は、まさにトリスタンという人物に課された「昼」からの退行と「夜」への憧れを体現している。

さて筆者は最後に「《トリスタン》においてはどのような舞台設定を設けようとも、本質的な人間関係は変わらない」という自らの発言に一石を投じておきたい。《トリスタン》の劇中に起こる出来事は、いずれも各人物の心情によって説明することが可能であるが、終結の「イゾルデの愛の死」だけは超自然的な事象であり、合理的な説明をつけることが出来ない。つまり、ここだけは各プロダクションによって根本的に異質な回答が出ざるを得ないのだ。その中でも先述のポネルの演出は、第3幕後半で描かれている船の到着からの一連を全てトリスタンの幻想とし、終幕の瞬間に独りこち切れたトリスタンを見せることで、観る者に衝撃的な虚しさを与える。この結末は私達に、それまで物語の前提であったかのように思われたイゾルデの愛についてさえも、疑問符を呈させるのだ。だがこのようにも考えることが出来る。《トリスタンとイゾルデ》はこの超自然的な「イゾルデの愛の死」があるからこそ、今後この作品を観る者にも上演する者にも、各人物への想像と解釈の余地をもたらすのかもしれない。

特別支援ご寄付者名簿(敬称略)

このたびの新型コロナウイルス禍に対する東京交響楽団支援に、
多くの皆様からご寄付を賜り誠にありがとうございました。
ここにお名前を掲載させていただきます。

法人

玉の肌石鯉株式会社
月島食品工業株式会社

個人

相磯 浩 青山和弘 安達みゆき Abe Manabu 荒 洋一 荒木憲治 荒木宣孝 五十嵐利輝 池上綾子 池田きよ子 池田俊也 池田力哉 石井 徹 石川絵梨 石川友規 石田晃一 石戸孝征 磯辺かなえ 磯部 聡 磯村元紀 市川直人 糸井若葉 伊藤俊太郎 伊藤貴子 伊藤喜子 井上康子 井畑光洋 今井俊昭 岩澤利枝子 岩淵知央 植木穂高 上野美佳子 植松隆治 宇田道弘 宇田川晋 内山誠彦 江原理恵 遠藤小織 大岩敦子 太田健司 大滝里美 大塚麻依 大野智子	大森正敏 岡田祥平 岡田百合 小川 徹 荻野敬子 荻原松美 長田章代 落合 昭 小山田玲子 加賀 充 片山勝喜 加藤悦子 加藤知子 加藤由紀 金子智昭 兼子伸彦 川上祐司 川嶋耕太郎 川嶋康子 川津泰人 川原正隆 河村徳子 菊池万美子 木澤美恵子 北澤毅史 北野雅子 木内正則 木内道子 木下順子 木下淳平 木村桂一 KUDO SUMIRE 久保律子 倉田英樹 小池美帆 小泉伸一 小泉由美 神代博史 大岩敦子 小久保麻実 小島昌尚 児玉 尚	小西雅弘 小林紗雪 小松 誠 犀川勲子 斉藤麻利 齊藤陽介 斉藤留美 佐伯禎子 酒井伊智郎 酒井治人 坂本尚也 坂本祐樹 阪本良太 佐久間修 桜井清一 佐藤 謙 佐藤茂栄 佐藤 孜 佐藤直人 品田真彦 柴田翔平 島倉仁志 崎嶋達治 春藤美穂 末吉美奈子 菅原依子 杉本憲亮 杉山慎二 杉山良雄 鈴木雄治 鈴木祥子 鈴木真理 鈴木雄治 鈴木ゆき子 鈴木裕輔 須田眞理子 関 和彦 関口良一 相馬紀貴 高木敦雄 高木雅也 高塚知之 高野育浩	高橋一敏 高橋 毅 高橋 肇 高橋眞理 高橋涼子 滝上秀人 滝川朋子 滝沢 修 滝沢友香 武石佐枝 竹内 慎 武尾和彦 武田栄子 竹田吉三郎 武田明絵 武市一成 田島 彰 田中悦子 田中敬子 田中知子 田仲成章 田中広晃 谷口太郎 谷元志帆 種村真一 千田晴久 千葉美由貴 長 光浩 筑城 裕介 辻 直浩 津田裕行 都築由理江 釣谷史香 寺尾 仁 寺田恵美子 照井理絵 富岡諭介 富田康晃 鳥山 薫 内藤由香 永井 篤 永井 崇 永井隆太郎	中川とも子 中澤裕美 長澤浩美 中島生也 中島 泉 中島弥知子 永友幸子 仲野かほり 中野裕子 長浜裕子 中村幸太郎 中村大志 中村百合子 成瀬裕子 西田紘子 西原江美 野崎 歆 野平 治 野村 敦 野村一成 野村雅彦 橋本恭子 長谷川彰子 長谷川さつき 畑 耕一 畠山豊土 畑農敏哉 林 雅人 林 祐子 林 裕人 早田初音 張田 豊 日野晶子 平田志保 廣瀬泰文 藤井 薫 藤川裕司 藤田義昭 藤谷美保 古川健司 星野有紀子 堀江正雄 堀口容子	本田恭子 本保弘人 前田智愛 松岡陽平 松澤里咲 松下ひろみ 松下泰之 松本龍大 間所利恵 馬橋達成 三上雅之 水越久美子 水田英朗 三田村啓佑 湊麻紀子 三輪晃司 村中 満 望月 晶 本橋千恵子 森 美里 森口恭子 森田 整 森永寿一 谷島みどり 安田直己 山口 聡 山寄克仁 山田友則 山田智美 山本 佳 山本浩一 横森浩美 吉田 正 吉田友作 吉原千智 吉村有朗 渡辺明子 渡辺浩司 渡邊彰恵香 渡邊直美 渡部 遥 匿名希望 317名
---	--	--	--	---	--

あたたかい励ましのお言葉、ご寄付をいただき、楽団員一同深くお礼申し上げます。
新型コロナウイルス禍により、演奏会のキャンセル、チケット払い戻し等多大な経済
的被害を被り厳しい状況が続いております。引き続き皆様のご支援を賜りたくここに
お願い申し上げます。
ご寄付は右記QRコードから、オンラインにて承ります。



公式サイトオンライン寄付ページ

NEWS & TOPICS

正 団 員

2020年5月1日付

西岡 理佐

Risa Nishioka [ステージマネージャー]

「ニコニコネット超会議2020」出演しました！



2020年4月18日(土)に開催された「ニコニコネット超会議2020」内で、延べ20万人が視聴した「東京交響楽団 Live from Muza!」が再放送されました。

当初「東京オペラシティシリーズ第114回」の生配信を予定していましたが、緊急事態宣言に伴い同公演が延期となりました。そこで、大変好評を博した無観客コンサート生配信第1弾「名曲全集第155回」を“投げ銭”機能付きで放送いたしました。

再放送当日は、生放送時を思い出させるかのような雨模様。再放送にも関わらず、多くの方にご視聴いただき、沢山の拍手・ご寄付いただきました。ありがとうございました。

当日の様子は東京交響楽団公式Instagramのほか、各SNSからご確認いただけます。

“#おうちで東響”コンテンツ続々！

外出自粛要請に伴いスタートした、「#おうちで東響」企画。公式Twitter、Facebookにて、紹介しています。是非ご自宅でも“#おうちで東響”を。

1 | 音楽・動画配信サブスクリプションサービス [TSO Music&Video Subscription]

月額500円(税別)で音楽・動画が見放題、聴き放題のサブスクリプションサービス。音楽監督ジョナサン・ノット指揮のライブ映像のほか、朝比奈隆指揮「ブルックナー：交響曲第7番」等、ここでしか聴けない貴重音源も。



2 | 公式Youtubeチャンネル

音楽監督ジョナサン・ノット指揮「マーラー：交響曲第7番」を全編公開中。「東京交響楽団」で検索を！



3 | 定期演奏会プログラム冊子 [Symphony]WEB掲載

2020年3月号～、演奏会で配布予定だったプログラム冊子を全編WEB公開中。



4 | オンライン東響SHOP

会場ではか手に入らなかった人気のオリジナルグッズをはじめ、秘蔵CD、書籍などをオンラインでご購入いただけます。来店はこちらから▶



5 | 「こども定期演奏会」公式HP

▶ 映像で観る演奏会
今までの公演内容の一部を動画で見ることができます。

▶ 音楽を学ぼう！

【楽器のいろいろ/音楽のいろいろ】
音楽の要素や楽器の魅力を分かりやすく掲載。

▶ プログラムノートWEB掲載

こども定期演奏会の楽曲解説をご覧ください。



NEXT PROGRAM

6/20(土) 東京オペラシティシリーズ 第115回

2:00p.m. 東京オペラシティコンサートホール

6/21(日) 名曲全集第158回 2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホールでも同プログラムで開催

指揮: 沼尻竜典 ピアノ: 調整中

※当初出演を予定しておりましたマルカンドレ・アムランは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航制限等の見通しが立たないことから来日中止となりました。

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

ベートーヴェン: 交響曲 第3番「英雄」

S¥7,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000



©N.Ikegami

6/26(金) 第671回 定期演奏会

6:00p.m. サントリーホール

6/28(日) 川崎定期演奏会 第76回

2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮: ユベール・スダーン

ピアノ: イノン・バルナタン

ベートーヴェン: 「プロメテウスの創造物」序曲

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番

メンデルスゾーン: 交響曲 第3番「スコットランド」

S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000 P¥2,500



©F. Fujimoto



©Yuji Hori

7/26(日) 第120回 新潟定期演奏会

5:00p.m. “リゅーとびあ”コンサートホール

← 次回の新潟定期演奏会は…

7/25(土) 第682回定期演奏会 6:00p.m. サントリーホールでも同プログラムにて開催

指揮: ジョナサン・ノット

弦楽四重奏: ロータス・カルテット

ラッヘンマン: 「ドイツ国歌を伴う舞踏組曲」

～弦楽四重奏とオーケストラのための

マーラー: 交響曲 第5番 嬰ハ短調

S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000 D¥2,000

リゅーとびあチケット専用ダイヤル TEL 025-224-5521



東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ
＜提携＞公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団



公式サイト

<http://tokyosymphony.jp>



1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。2020年3月第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」[室内楽・合唱部門(東響コーラス)]をW受賞した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュージザ!川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演「グレの歌」はいずれも高い評価を得た。2019年にはジョナサン・ノット指揮「マラー:交響曲第10番&ブルグナー:交響曲第9番」が第31回「ミュージック・ペンクラブ音楽賞優秀録音作品賞」を受賞。音楽誌「音楽の友」の「41人の音楽評論家・記者が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」」にて、最多3公演が選出され注目を集めた。

ITへの取り組みも積極的で、「VRオーケストラ」や「LINEチケット」の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートし注目を集める。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名の無い音楽会」ハレギューラ出演や、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等からCDを多数リリースしている。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュージザ!川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウィーン楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げた。

また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「子ども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的で開催。その募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地に役立てられている。



マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



音楽・動画配信サイト

「TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION」

1か月
500円
(税別)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Brochure

Symphony

Symphony 2020年(令和2年)5月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージザ!川崎セントラルタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHHビジネスクリエイト